

アルミメーカーがつくった  
かんたん・手軽な止水板

# 水用心

## MIZUYOJIN

# UACJ

Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界

特許出願中

意匠登録第1695337号

土のうが不要!  
軽量・すばやく取付!

当社の技術とアルミの軽量を兼ね備えた止水板。特別な工具を使用せず、一人でも市販のダブルクリップでかんたんに取付が可能。

高い止水性能

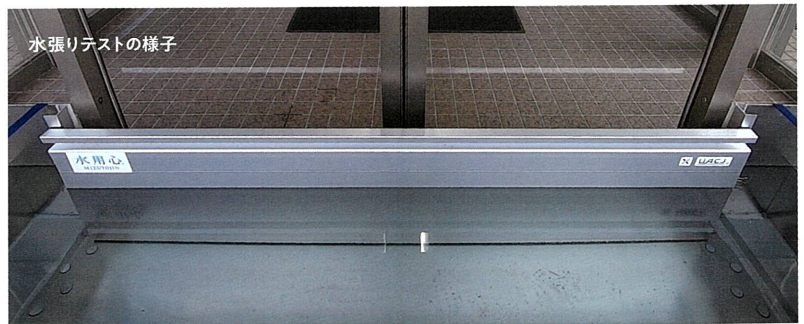
土のうの約100倍の止水性能。  
一般的な止水板よりシンプルな構造ながらも同等の止水性能を発揮。

導入しやすい価格

水害対策費用を抑えることが可能。自治体によっては導入に当たり補助金が支給されます。(詳しくは最寄りの自治体にお問い合わせください。)



参考価格:税込 ¥236,500



止水性能:WS-3クラス[漏水量20ℓ/(h・m)以下]

参考価格 ※支柱MZ-C1を使用した場合の1セット価格例

サイズ(高さmm×幅mm)	参考価格(税込)	サイズ(高さmm×幅mm)	参考価格(税込)
350×1,000	¥45,800	350×2,000	¥76,800
450×1,000	¥60,500	450×2,000	¥100,100
550×1,000	¥70,400	550×2,000	¥113,300

◆高さは150mmより

◆幅は間口に合わせて1mm単位で調整可能

※1.送料は別途 ※2.施工が必要な場合は別途費用がかかります。 ※3.柱や壁面、床面等の現地状況により設置できない場合がございます。 ※4.本製品の仕様および設置の可否は個別にご相談させていただきます。 ※5.別途、現地調査・特注部品対応などで費用がかかる場合がございます。先ずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

## 大隅産業株式会社

営業本部 営業部 後藤

〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字下汐田112番地  
TEL:052-629-3361 FAX:052-629-3021

製造元

## 株式会社UACJ押出加工

開発本部 水用心担当

〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目7番2号  
TEL:03-6202-3811 FAX:03-6202-2114

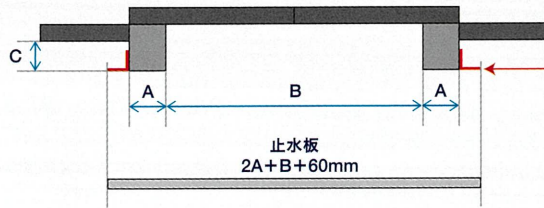
E-mail:sales\_mizuyojin@ml.uacj.co.jp

設置手順の動画はこちら

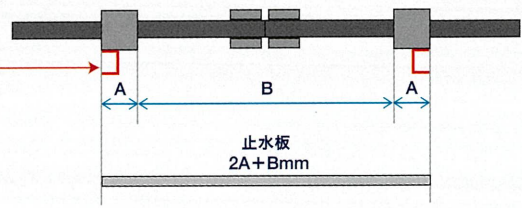


# 支柱選定方法

図I (L型)



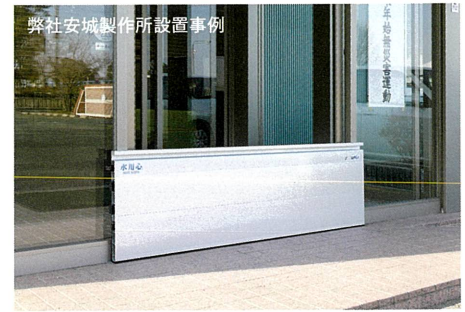
図II (コ型)



支柱はL型とコ型の二種類用意しています。蝶番などの出っ張り部分が無く、柱までの奥行(C)が30mm以上確保できる場合はL型支柱(図I)を、柱の幅(A)が30mm以上あればコ型支柱(図II)を推奨します。購入の際はどちらかを選択下さい。

支柱に取付ける止水板の幅は、既存のドアやシャッターの柱の幅(A)と開口部の幅(B)により図示のように決まります。

支柱はドリルビスなどで既存のドアやシャッターの柱に固定します。コ型支柱は既存の柱や床面との隙間にシーリング処理が必要です。ご自身の取付けが困難な場合は、お客様の最寄りの工務店などにご相談の上、施工を依頼して下さい。ご不明な場合は、お気軽にご相談ください。



## 止水板取付の手順

01

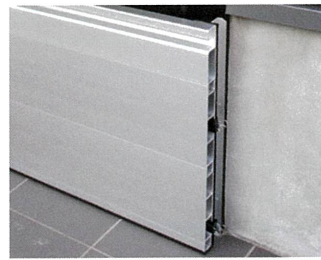


止水板を左右の支柱に軽く押し付けながら、ぴったり重なるように置きます。

02



ダブルクリップ等で片側に最低2か所ずつ合計4か所以上、止水板を支柱に留めます。



止水板内部に水が入り込んで浮力が発生しないためその他の抑え金具は不要です。支柱への固定は市販のダブルクリップの他、クランプ等でも代用できます。

幅2,000mmx高さ550mmの止水板重量は約14kg

で、土のう(約20kg)よりも軽く、取付の際に高く持ち上げる必要も無いため、一人でも取付可能です。(取付目安時間:1人で約1分)

## 製品仕様

止水板厚さ	33mm(高さ550mm、350mm共通)
主要部材	止水板・支柱(アルミニウム合金)、止水ゴム(EPDMゴム発泡体)
止水性能	水深500mm、止水板幅2000mmにおいて、止水試験を実施したところ、漏水量は20L/(h・m <sup>2</sup> )以下であり、一般的な止水板と同等の止水性能が得られました。*完全に止水できる製品ではありません。数値は当社実験値であり、条件により異なります。また、建物の構造や設置個所の状態によって漏水量は異なります。漏れた水が床面に広がるのを防ぐ場合は、雑巾等をご使用下さい。
保管とお手入れについて	雨が直接当たる屋外を避け、屋内に保管して下さい。止水ゴムが変形して止水性能が低下するのを防ぐため、壁面等にフックで掛けたり、立て掛けて止水ゴムを圧縮しないように保管して下さい。使用後は、中空部を水で洗浄し、十分に乾燥させてから保管して下さい。止水ゴム(EPDM系ゴム発泡体 幅30mm 厚さ10mm)が劣化した場合は交換して下さい。